

文化・芸術



「当てにはならない」

2021年、油彩、カンバス
112・0cm×146・0cm（練馬区
立美術館蔵）

野見山暁治（1920～2023年）

本作のタイトルは「じゃない」

「当てにはならない」と 画面は驚くほどみずいいます。野見山暁治みずしく、滴る絵の具が、101歳のときにやうねる筆致に加え、手がけた作品です。同年には「100歳記念 覚が心地よさをもたらすぞいぞ！」野見山暁治のいま」展が開催され、図録の冒頭に自身のこれまでを振り返る次のような言葉を寄せ放っています。

「ただ描いていた。という言葉とは裏腹に、揺るぎない手応えが感じられます。

「野見山暁治」空に広がる。埃だらけ、凹凸の画面。そのまま描き続けて、いつの間にか百年たった。ウソ

（小此木）

《名画の扉》

大川美術館企画展「野見山暁治
—空にあそぶイメージたち」から